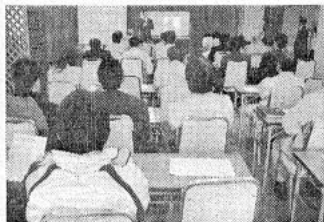


アル骨問題 で研修会

福井県診断士会

福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）
は2月24日、福井市の福



井県職員会館で研修会を開催した。鳥居和之金沢大学教授が「北陸地方におけるアルカリ骨材反応の現状とその対策」と題し講演、会員のほか福井県庁職員など多数が参加した。

石川会長は冒頭あいさつで「当会は診断士の地位向上などを目的に一昨年に設立した。今回の研修会は初めて会員外の参加を自由としたオープン形式としたが、福井県庁をはじめ多数の参加を得

た。アル骨問題への関心の高さを改めて実感した」と語った。

なお、同会ではコンクリート診断士の06年新規登録者の入会を受付中だ。問い合わせ先は福井宇部生コンクリート（TEL 0776・56・1234）。